

様式

| | | | | | |
|-------|---|-------|--|-----------------------------|----------------|
| 技術名称 | チタンロッド内部挿入陽極工法 | 技術の分類 | 施工 | NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号) | No.TH-990090-A |
| 会社名等 | 東興ジオテック株式会社 | 担当者 | 事業本部 | 佐藤 隆 | 連絡先 |
| 技術の概要 | 棒状に加工したチタン製の陽極(チタンロッド陽極)を、コンクリート表面から所定の間隔をもってコンクリート内部に挿入・設置し、直流電源装置のプラス側をコンクリート内部に設置した陽極に、マイナス側の陰極を鉄筋に接続して防蝕回路を形成し、鉄筋の腐食を防止するタイプの電気防食工法です。 | 対象者 | <input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む) | | |
| | | | 0.9 | パンフの有無 | 有 |
| | | | | その他の資料 | パンフレット |
| 技術の特徴 | 1. 構造物の形状・鉄筋かぶり厚の影響を受けにくい優れた施工性 ・構造物の任意な形状に対応でき、鉄筋のかぶり厚さの影響をうけない。 ・通常施工が難しい狭隘な部位においても防食が可能 ・下地処理および既塗装材の除去は不要 ・外部からの衝撃による損傷がほとんどありません。 2. 「一方向施工」による優れた経済性 ・部材厚によっては、片面からの「一方向施工」で部材両面に防蝕効果を与えることができることから、工事全体のコスト削減に寄与します。 3. 環境・安全・美観を考慮 ・ガラの発生量、施工時の騒音・振動が少ない。 | - | 電気防食施工後の維持管理においては、外部電源方式の電気防食用に開発されたシステムにより、プログラムに応じた頻度で自動的に復極量試験を実施し、その結果を記録することが可能です。また、モニタリングシステムにより遠方の事務所から電圧、電流、電位などのデータを常時確認することが可能です。 | | |

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。